

平成30年度 環境活動の取り組み

ひたちなか市立堀口小学校

【本校の紹介】

本校は勝田駅から徒歩で15分、市のほぼ中心部に位置しています。学区内にはたくさんの商店やスーパーマーケットがあり、便利なところです。

一方校内に入ると、市街地とは思えないほど緑豊かな環境が広がっており、東、南、西側は、大きな木々に囲まれています。

本校には、校庭の他に「プレイランド」と呼ばれる周囲約400mの草地が広がり、そこには、ジャンボ滑り台などの遊具もあり、児童のよい遊び場になっています。学校の森やプレイランドの草むらには、カブトムシ、クワガタ、トンボ、バッタをはじめたくさんの昆虫がおり、自然豊かな環境です。

1 自然と親しむ活動

(1) 虫キング大会

プレイランドにはトンボやバッタ、カマキリ等、たくさんの昆虫がすんでいます。休み時間には、それらの昆虫を捕まえようと夢中で追いかける児童が見られます。

この恵まれた自然環境を生かし、飼育委員会が中心となって、毎年「虫キング大会」を実施しています。

「虫キング大会」は、縦割り班で昆虫を捕まえ、その種類や数を競う虫取り大会です。各班ごとに校内の指定された場所で昆虫を捕まえます。敷地内で大々的に虫取りのできる学校は、なかなかありません。中には昆虫に触れるのは苦手な児童もいますが、班の友達と協力して虫取りをすることは、貴重な体験です。

集会では、最後に「どんな虫にも『命』がある。」ことを確認し合い、捕まえた虫を逃がします。「虫キング大会」は、かけがえのない命について考える大切な機会にもなっています。



(2) 休み時間

四季折々の自然に恵まれたプレイランドや池のある堀口小生物生息空間では、業間休みや昼休みには、植物や昆虫、水中の生き物とふれあうことができます。

児童にとっては、絶好の遊び場となっていて、自然のすばらしさをたっぷりと体感できる時間です。



2 栽培活動で学校を美しく

(1) 学校花壇

本校には、たくさんの花壇やプランターがあり、栽培委員の児童だけでなく、PTAの整備委員会の方々も加わって草花を育てています。春にはマリーゴールドやサルビア、秋にはパンジーやチューリップ、ノースポールなどを植え、四季折々に咲く花々を楽しんでいます。



(2) 各学年の栽培活動

学校にある観察園や植木鉢などで、各学年ごとに栽培活動を行っています。平成30年度には、1年生はアサガオとサツマイモ、2年生は野菜、3年生はヒマワリとホウセンカ・キャベツ、4年生はツルレイシ、5年生はインゲンマメ、6年生はジャガイモを栽培しました。どの学年も収穫の喜びを味わいました。



3 環境を整える

(1) 親子奉仕作業



5月と9月に児童と保護者及び教職員が一緒になって、除草などの作業を行っています。また、「親父の会」の方々は側溝掃除を行います。汗を流しながら親子で協力し合い、学校美化のために活動しています。

プール清掃の際には、毎年「ヤゴ」を捕まえて教室で育てたり、敷地内

の池に放したりしています。今年は2年生の教室から元気にトンボが飛び立ちました。

(2) 植樹作業

5年生が、いばらき森林クラブより寄贈していただいた「ナツツバキ」と「ヤマボウシ」を植樹しました。(平成30年6月13日)

夏の雨不足で枯れそうになりましたが、何とか持ちこたえ、新芽が出始めています。



4 地球環境とエコに関する取り組み

「ストップ地球温暖化」の呼びかけのもと、4年生がCO₂エコチャレンジとキッズミッションに取り組みました。学校や家庭での電気使用量を減らそうと省エネに取り組んでいます。また、学校でも各家庭でも、電気の使用量を減らすことを目的に、必要のない電気を消すこと、室内の温度を調整することをはじめ、省エネ生活を心がけるようにしています。